

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 4月 9日

事業所名 放課後等デイサービス こーじーくらぶ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		広く使用できるように工夫している	指導訓練室は77㎡あり、基準以上の広さになっています。
	2 職員の配置数は適切である	5		シフト調整している	児童指導員、保育士、精神保健福祉士等配置している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			遊具の配置や活動後の遊具の片付けなど実施しています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			午前、午後と事前、事後に申し送りを実施している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			保護者向け評価表による評価と公表を実践し、以降を把握し、改善に努めています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			ホームページ上に掲載しております。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		事業所だけでなく、法人スタッフの意見も考慮し改善につなげている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			事業所内の研修に加え、外部研修の機会を提供しております。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		自発音と情報を共有している。	保護者面談によりニーズを把握し個別支援計画を作成し支援にいかしています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			発達検査の結果を支援に生かしています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2		非常勤職員との参画を工夫して活動プログラムを立案していけるように努めてまいります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			プログラムの目的や児童の様子に合わせて職員の役割やサポートの仕方を話しあっている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			活動時間に合わせた課題を提供している
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			個別活動だけでなく、集団活動も重要であるため、集団活動の計画をたてて実施している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			支援開始前の打ち合わせや役割分担は必ず行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			終了後の振り返りを実施し、勤務以外の職員とも共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			支援記録はスタッフが記録を取るとともに、検証改善につなげている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			定期的なモニタリングを実施し、ご家族への説明や個別相談を実施し、個別支援計画書の見直しをしている。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5			各ガイドラインを把握し、実際的な支援を実施している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			開催される場合には、児童発達支援管理者や担当者など適任者を選んで出席します。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		学校迎えの際には学校の状況を聞いている。	学校から発行される下校時間表や、行事予定表を確認し連絡調整を適切に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5			現在は、医療的ケアが必要な児童は受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			必要に応じ保育所や幼稚園と連絡をとり情報共有や相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			現在は、移行はありませんでしたが、今後そのような移行がある場合には、支援内容等の情報を提供していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			利用児に関して専門機関と連携している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5			地域の活動として、障がいのない児童や兄弟等との活動も計画し実施している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2		現在は機会がありませんが、今後は協議会等へも参加してまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		親御さんとの信頼関係を築くよう努めている。	利用後や送迎時に毎回様子をお伝えするとともに、相談業務によって課題について共通理解を持つように努めています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		保護者との話し合いの中で、児童との関わり方について支援していますが、今後は定期的なペアレントトレーニングを実施していきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時や請求時に丁寧な説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		相談の窓口を提示している。	随時、行っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		コロナ感染対策の為、前年度は実施出来なかったが、今後は実施していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			対応の体制について説明するとともに、苦情があった場合には迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			毎月の予定表や活動概要について会報を発行しています。
	35	個人情報に十分注意している	5			事業所内では、個人情報保護法について研修を実施し、十分注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			児童に対しては、視覚で理解できるように工夫したり、その日の活動内容をホワイトボードに記載している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5			今年度は、地域住民を招待する企画をしており、開かれた事業運営を実施していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			マニュアルをいつでも見られるようにし、研修を実施している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		3ヶ月に1回程度実施	定期的な訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			虐待防止マニュアルを使用した研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2		現在は、身体拘束を行う必要がある児童はいないが、今後は子どもや保護者に説明し了解を得て支援計画に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		現在は、深刻な食物アレルギーのある児童はいない。(生卵のみという児童のみ)把握している限りは対応している。医師の指示書が必要な場合は指示書に基づいて対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングをとおして共有している。